

玉川支所 おでかけ市長室 質問・回答要旨

開催日・場所 令和4年7月26日(火) 18:30~20:00 グリーンピア玉川 アリーナ

NO	項目	質問要旨	回答要旨（今後の対応策を含む）
1	公共交通Ⅰ 玉川地域の路線バスについて	<ul style="list-style-type: none"> ・せとうちバスの葛谷線・神子之森線廃止に伴い、高齢者の通院や買い物などの交通手段が無くなるのではないかと。 ・路線バス廃止後の玉川地域での円滑な交通手段の確保をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、朝倉地区及び吉海地区でバス路線廃止に伴う代替交通として、デマンドタクシーによる実証運行を行っている。JAアグリプラザの撤退後、玉川でも買物難民対策としてフジを始め、移動スーパーが運行されるようになった。 ・自治会に加入する全世帯に普段のお出かけ（買い物・病院等）に関するアンケートを実施し、その結果をもとに地区のニーズに合った新たな交通手段について、住民の皆様と一緒に考えてまいりたい。
2	公共交通Ⅱ 鴨部地区の路線バスについて	<ul style="list-style-type: none"> ・鴨部地区は何年も前にバス路線が廃止となっており、バス路線が無くなるのは仕方ないと思う。今更、公共交通の確保の話は必要ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・玉川全体で公共交通をもう一度見直す時期であり、持続可能な交通体系を地域で議論していく必要がある。
3	子育て 子育て環境の整備について	<ul style="list-style-type: none"> ・玉川地域では過疎化が大きな問題である ・若い夫婦が住んで、子育てができる環境を整備することが一番大事であると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して子供を産み育てる環境を整備するために、子育て世代のお母さん方による「こどもが真ん中親会議」やWEBアンケート、「子ども子育て会議」など市民の皆さまからの意見を取り入れながら調査研究を進めている。 ・だれ一人取り残さない切れ目のない支援体制を構築することで、子育て世帯に選ばれるまちを目指して取り組んでまいりたい。
4	耕作放棄地 都市計画法の市街化調整区域の変更について	<ul style="list-style-type: none"> ・玉川地域では耕作放棄地が増えており、この農地を流通させるため、市街化調整区域の線引きを廃止するか、変更をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・線引きは持続可能な街づくりを進めるために必要な制度と考えている。 ・現在、地域コミュニティの活性化や生活の利便性の確保を図るため、市街化調整区域における地区計画の運用方針の見直しに取り組んでおり、玉川では、支所を中心に、500m以内に商業系、1km以内に住居系の開発が可能となるような要件の緩和を考えている。 ・運用方針の見直しに関しては、9月からパブリックコメントを実施し、都市計画審議会での審議等を踏まえ、今年中の改定を目指している。
5	デジタル化 自治会のデジタル化について	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会などの会を支所や公民館からリモートで行うことができれば、時間的に助かると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館や支所でもリアルタイムで様々な画面を通して議論できるように早急に対応したい。 ・環境が整い次第実施可能ですが、実施の可否については、それぞれの団体の意思によることとなる。 ・市民の方が本庁まで来なくても、支所からオンラインにて本庁とやり取りができる仕組みを現在検討・準備中している。

NO	項目	質問要旨	回答要旨（今後の対応策を含む）
6	耕作者の減少 高齢化した中山間地区の農業に対する補助について	<ul style="list-style-type: none"> ・鈍川地区では高齢化が進み耕作者が少なくなっており、多面的機能支払交付金に代わる補助をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水路等について例年より予算を多く確保し、地域内で工事が進むように総代さんの意見を聞きながら進めていきたい。 ・他市町村の事例を調査・研究し、土地改良施設の維持修繕に係る地元負担を軽減できる方策を検討してまいりたい。
7	空き家 空き家バンクについて	<ul style="list-style-type: none"> ・近々、家を購入したいと思っており、空き家バンクについて、今治市在住でも利用することができるのか教えていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・空家バンクは、今治市に移住を検討されている方が対象になっているが、県や市の空家バンクのホームページにある物件を取得することは可能であり、地域振興課へお問い合わせいただきたい。 ・空き家を貸したい人と、借りたい人のマッチングは安心感のある行政が入らないと、整いにくいと思う。 ・空き家を購入したい人向けに、「売却・賃貸情報提供依頼」という事業を実施している。 ・地域振興課に依頼書をご提出いただくと、空き家バンクに協力いただいている市内50社の宅建業者に、知りたい不動産情報を照会できる仕組みとなっているので、ぜひご活用してほしい。
8	今治の産業 海事都市今治について	<ul style="list-style-type: none"> ・今治は国際海事都市として、2年に一度大きいイベントを行っているが、海運会社は今治にあるが商談は東京でといったように、「海事都市今治」が数年先には有名無実になる可能性がある。 ・今治の産業を守っていくことに取り組んでいただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本中どこを探しても、海運、造船、船用、ファイナンスがローカルマーケットとして成立している地域はなく、これらの方々と絶えず意見交換をしながら、「海事都市今治の旗を持つのは、今治市なんだ。」という自負を持って、人を育てていかなければならない。各社の同世代の代表でチームワークにより、今治の考え方を東京にしっかり伝えていくことが本当に必要である。 ・市長が代表世話人を務め、全国44の自治体で構成する「海事産業の未来を共創する全国市区町村長の会」において、地元海事産業の声をしっかりと受け止め、国等への要望活動にしっかりと取り組んでまいりたい。 ・今治地域造船技術センターによる人材育成事業を支援し、各企業を支える若手職員の育成や小中学生を対象とした海事教育にも取り組み、地域雇用の大きな受け皿である海事産業を守り、名実ともに日本最大の海事都市であり続けるよう対処してまいりたい。
9	小学校 I 小学校の統合について	<ul style="list-style-type: none"> ・鴨部小学校、九和小学校2校の合併が将来的に行われると思うが、現在の市としての見通し、合併する際の基準を教えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、小中学校の適正規模は1学年2学級以上と考えており、適正規模を下回る見込みの学校を小規模校として見直しを行うことになっている。 ・学校の小規模化が進んでいる現状を踏まえ、学校運営協議会や地元代表者会に、学校の現状や将来シミュレーションを説明し、適正配置に関する地元要望を聴取してまいりたい。

NO	項目	質問要旨	回答要旨（今後の対応策を含む）
10	小学校Ⅱ 小学校施設の老朽化について	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の施設の老朽化が進んでおり、なかなかお金をかけられない中、いろいろと修繕を行っていただいている。 ・小学校は子供が長い時間過ごすところであり、安心して預けられるよう、基本的な修繕も引き続き行っていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と教育委員会で議論しながら計画的に進めていきたい。 ・「子どもが真ん中」の視点に立ち、子どもたちが快適かつ安心安全に学習できるよう必要な事業を優先順位を定めながら進めてまいります。 ・学校施設は、子どもたちが一日の大半を過ごす学習・生活等の場であり、災害時には地域住民の避難場所としての役割を果たす重要な施設のため、老朽化対策は、先送りできない重要な課題の一つと考えている。
11	道路整備 市道別所清水線の修繕について	<ul style="list-style-type: none"> ・別所地区の東洋道路の駐車場から、ありがとうライフショップの信号のところまでの間、特に八幡饅頭から信号の間がデコボコがひどくて、ラインも全然見えなところがかかりあり、補修をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高速道路の工事に伴う、大型車両等の進入が予想され、全体的な改修を実施しても、工事の際に傷む可能性が非常に高いため、工事完成後に対応予定である。 ・部分的に非常に路面の悪いところについては、修繕で早急に対応していく。 ・玉川部分のラインが消えているところについても、今年度道路課予算にて対応する。
12	支所の改修Ⅰ 老朽化した玉川支所の改修について	<ul style="list-style-type: none"> ・支所の改修の話が出てから随分となるが、いつ頃になるのか、内容はどうなるのか。 ・駐車場が狭く、会合時に困っている。エレベーターがなく配慮されていない。調理室が狭くて困っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・順次改修を進めており、令和2年度は菊間支所、令和4年度は波方支所を改修している。そして、しまなみ振興局及び伯方支所の合同庁舎を令和6年度までに建設する予定である。庁舎の改修にあたっては、市財政に過度な負担とならないよう計画的に改修を進めている。 ・支所の改修にあたっては、これからの人口減少社会に対応して公民館との複合化、耐震化、長寿命化など効率的な支所を目指して改修を進めていく計画になっている。 ・施設のバリアフリー化や駐車場の拡充、エレベータの設置等も改修する際には検討していく。しかしながら、敷地が狭小な玉川支所においては、直ちに複合施設としての改修とはいかず、今後、建替えも含め、改修案を検討する必要がある。 ・できるだけ早期に新しい玉川支所を実現できるよう努めていく。
13	支所の改修Ⅱ 玉川支所の改修について	支所を建て直す場合に、上層階に避難所を検討してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの支所がどうあるべきか、しっかりと議論し、計画性をもって財源を充ててまいります。 ・玉川支所の改修については、No.12のとおりだが、改修等の際には避難所設置についても検討していく。

NO	項目	質問要旨	回答要旨（今後の対応策を含む）
14	ネウボラ 今治版ネウボラについて	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども家庭総合支援拠点設置とあるが、将来、子供、子育て世代総括支援センターというのができるのか。 ・中央にできたとしたら、玉川地域にはどのような関わりになり、支所との窓口がセットされるのか。 ・子供たちへのサポートが、これからどのように進展していくのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ネウボラ政策課にこども家庭支援室を設け、「子ども家庭総合支援拠点」と「子育て世代包括支援センター」を集約し、情報の一元化を図っている。 ・今後の地域とのかかわりにおいては、庁内PTを立ち上げ、子育て世帯の相談窓口としてワンストップで対応できる今治版ネウボラの中核を担う拠点施設の整備や、相談サテライトの充実など、地域の広さをカバーする相談体制の構築に向けて調査研究を進めており、だれ一人取り残さない切れ目のない支援体制により、安心して子供を産み育てる環境を整備してまいりたい。 ・子供食堂の開設を、県と一緒に実施している。勉強や食事のケアもしっかりと取り組んでいく。
15	行政 行政の役割について	<ul style="list-style-type: none"> ・行政の役割とは何なんだろうというふうを感じる。 ・Aコープが閉鎖され、巡回販売も来ているが、非常に不便だ。バス路線も来年9月末で廃止され、そういう経済合理性で、民間企業が出てきた時に行政はどうつなぐのか。過疎化に拍車をかけてしまうと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「玉川支所がもっと良くなった」、「地域振興局を使って本当によくやってくれてる」そう言うてくださる組織に皆さんとともにしていきたい。皆さんの幸せを自分の幸せのように受けとめられる職員に育ててほしい。 ・地域住民の皆さまと、地域振興局及び各支所職員とでコミュニケーションを図り「市民が真ん中」の視点により持続可能でよりよい地域を築いてまいりたい。
16	避難 高齢者等の避難について	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等の避難に準備などで時間がかかる。避難指示などをできるだけ早く知らせしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難情報を出すタイミングに迷うところであるが、自主防災組織等の協力をいただきながら、早め早めの避難をお願いしたい。 ・高齢者や不安を抱えている方々には市からの避難指示等を待つことなく『自主避難』することも可能である。 ・その避難所としては24時間対応可能となる支所（公民館）となるので、自主避難する前に支所に電話連絡していただければ、速やかに自主避難所として開設を行う。
17	公園 鴨部地区の公園について	<ul style="list-style-type: none"> ・鴨部中村と小鴨部の境あたりに大きな公園を作っただけならば、防災上、避難場所ということも含めて遠くまで避難をしないといけないということにはなりにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今治市の公園について、今後、大幅な人口増が望めない中、新しい公園を整備するような状況ではないが、費用をかけず広場的な公共空地も必要であると考えている。 ・これからは周辺施設や環境、市の財政状況を勘案し、公共施設の未利用地や市民の皆さまからご寄付いただけるような土地等があれば公園や広場として整備する必要性等を適切に検討していく。